青少年国際交流事業事後活動推進大会
日本青年国際交流機構　第 32 回全国大会
第 23 回　青少年国際交流全国フォーラム
開催要綱

１．目　的：　内閣府､地方公共団体等の行う青少年国際交流事業の既参加青年が集まり、地域における事後活動の推進状況を報告するとともに、全国的な事後活動を更に充実させるための方策について積極的に意見交換を行い、既参加青年相互の交流と研さんを図り、今後の国際交流活動及び地域社会における諸活動の推進に貢献するとともに、国際交流活動を一般の方にも紹介していくことを目的とする。

２．主　催：　内閣府
日本青年国際交流機構
一般財団法人青少年国際交流推進センター
新潟県青年国際交流機構

３．後　援（予定）：　新潟県

４．主　管：日本青年国際交流機構第 32 回全国大会新潟大会実行委員会

５．期　日：平成 28 年 8 月 27 日（土）13：00　～　28 日（日）11：30

６．プログラム：
〈テーマ〉**世界につながる　ものづくり精神と人材育成　～越後から始まる物語（ストーリー）～**
　グローバル化が進んでいる現代においては、日本の地域においても大きな波を受け、様々な対応を求められています。そうした中でも、様々な変化に対応し大きく発展を遂げている企業や地場産業があり、地域の活性化に貢献している例は数多くあります。
　今回の全国大会を開催するにあたり、新潟の象徴的な産業である農林水産業を含め広い観点で地域産業をとらえ、全国のみなさんと共に、新潟について新しい角度からの発見、発信をすることを通して、グローバル化への地域の対応や人材育成について考えていきます。
　具体的には、新潟には、有名な米や酒つくりの他に多くの伝統的なものづくりの産業と文化が継承されている中で、特に丁寧に人の手をかけて作り上げている「食べ物」「もの」が数多くあります。そこには、ものつくりを支えている人々並びに技術の継承とさらなる工夫に取組む姿を見ることができます。さらに、昨今は「もの」とともに新潟の心や魂とともに世界へとつないでいく動きも活発化しています。
　本大会の基調講演には、そうした取組の中でも、成功を収めている「玉川堂」の代表取締役玉川基行氏を迎えて、鎚起（ついき）銅器の伝統工芸を海外のブランドとコラボレーションをし、注目を浴びる存在までとなった経緯と若い職人世代の人材育成への取組をお話いただきます。
　さらに、基調講演に加えて多数の分科会を設定し、参加者の皆さんに、新潟のものづくり文化を体験するとともに世界に発信している取組や人材育成を理解し、地方（地域）から世界へ発信するストーリーを共有することを通じて、私たちの今後の活動における世界との繋がりや人材育成の取組にいかしていくことを目指します。

第１日目・8 月 27 日（土）

大会一日目

13:30　開会式

14:00　基調講演「世界につながるものづくり精神と人材育成　」

講演者　玉川堂代表取締役七代目　玉川　基行　氏

15：15　記念写真

15：45　分科会　11の分科会を設定

19：00　懇談会

第２日目・8 月 28 日（日）

9:00　日本青年国際交流機構 表彰式

9:30　各都道府県及び個人の事後活動紹介

11:00　閉会式

11:30　地域理解研修

７．会　場：　岩室温泉ゆもとや

953-0104 新潟市西蒲区岩室温泉 91-1

８．対象者：　内閣府、地方公共団体などが実施した青少年国際交流事業の既参加青年

国際交流事業に関心のある方

９．参加費：　1. 宿泊 ＋ 懇親会参加

大人（中学生以上）16,500 円　（シングル使用　20,000 円）

子供（小学生）　11,500 円

2. 全体会及び分科会＋ 懇親会参加 の場合

大人（中学生以上）9,000 円　子供　3,000 円

3. 全体会及び分科会のみ参加

大人（中学生以上）2,000 円　子供　無料

10．実行委員：

実行委員長	岸田まりな	第 21 回国際青年育成交流事業　ラオス派遣	新潟市
副実行委員長	小田サオリ	第 14 回「世界青年の船」事業	新潟市
実行委員	小林恵子	第 11 回「世界青年の船」事業、 第 19 回国際青年育成交流事業ドミニカ共和国派遣副団長	新発田市
実行委員	間嶋祐樹	第 14 回「世界青年の船」事業	新潟市
実行委員	坂上則子	第 14 回青年社会活動コアリーダー育成プログラム英国派遣	三条市
実行委員	三浦正子	第 11 回「青年の船」事業	三条市
実行委員	山口均	第 11 回「青年の船」事業	燕市
実行委員	佐藤了	第 21 回「青年の船」事業	阿賀野市